2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名（英）	第二外国語2（韓国語）（Korean2 ）		
ナンバリングコード	A20314	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 標準レベル コミュニケーション科目
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 / 後期
必修・選択区分	選択		
授業コード	A030251	クラス名	
担当教員名	高　文局		
履修上の注意、 履修条件	できれば、第二外国語1（韓国語）を受講していることが望ましいです。 何よりも「韓国語」を学びたいという熱意が最優先の条件です。		
教科書	別途指示します。		
参考文献及び指定図書	『はじめての韓国語』金一裕鴻著、朝日書出版社 『至福の朝鮮語』野間秀樹著、朝日出版社 必要な資料はプリントにして配布します。		
関連科目	第二外国語1（韓国語）		

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試験・中間確認等）	提出物 （レポート・作品等）	無形成果 （発表・その他）
【関心・意欲・態度】			10点	10点
【知識・理解】	①ハングル文字について理解する。 ②ハングル文字を読めるように学習する。 ③ハングルの基本文法を学習し、日本語との違いについて理解する。	70点		
【技能・表現・ コミュニケーション】	④簡単な会話ができるようにする。		5点	
【思考・判断・創造】	⑤韓国社会・文化についての理解を深め、異文化に対する新たな視点を身につける。		5点	

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

・レポートは、授業時に指示される記載注意事項に従って締切日まで提出してください。すべて提出した場合は、評価の対象とします。

・授業に欠席や遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。

○授業の目的・概要等		
授業の目的	外国語を学ぶことの意義は、母語にのみ基づいた考え方、感じ方に新しい視点を導入し、世界の捉え方に変革をもたらすことにあります。大学では中学校以来学んできた英語に加えて別の外国語を学ぶことが望ましく、それは単に専門教育課程にとってのみならず、一般教養の一環としても大きな意味をもちます。なお、近年韓流ブームの流れのなか、韓国語に対する関心が高まっています。さらに、経済・社会・文化的な領域においてもさまざまな交流が行われており、第2外国語としての韓国語に対する社会的な需要も年々増えています。 本講義では、韓国語という言語だけではなく、韓国の社会・文化についても写真や映像などの資料を用いて学習し、異文化に対する理解を深めていくことを主な目的とします。	
授業の概要	第二外国語2（韓国語）では、第二外国語1（韓国語）に続き、文章の構造や文章を読む時の発音問題を繰り返し練習し、理解してもらいます。さらに、文法の理解とそのレベルアップを通じて、自己紹介はもちろんのこと、ある程度日常会話ができるようにするのが目標です。 配布資料の概説や演習問題と解答の提示を通して、授業内容や課題のフィードバックができるようにします。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「該当しない」
	（3）アクティブ・ラーニング	「該当しない」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目		

○備考欄

・欠席・遅刻はしないように心掛けましょう。止むを得ず欠席・遅刻をする場合は、事前に担当教員にメールなどを通して連絡してください。また、担当教員の研究室に寄り欠席した日の資料を受け取ってください。

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 : 第二外国語2（韓国語）（Korean2 ）　授業コード:A030251
担当教員: 高　文局

学修内容

1. オリエンテーションと前期の復習(1)
授業の進め方や評価について説明します。
第1回目の授業では、前期において習ったものを、もう一度復習します。特に、ハングルの読み方や発音を復習します。会話でよく用いられる決まり文句を中心に、パッチムの読み方やリエゾンに特に注意しながら復習します。授業内容について課題を出します。

予習: 前期習ったハングルの読み方や文法などを予習しておく。（約2.0h）
復習: 前期習った内容を中心に、ハングルの読み方や文法などを学習する。（約2.0h）

2. 前期の復習(2)
前期において習ったものを、もう一度復習します。
ここでは主に、前期において習った文法を中心に復習を行います。丁寧体の作り方や否定形、助詞の使い方、冠形詞などについてもう一度復習します。授業内容について課題を出します。

予習: 前期習った否定形や助詞などについて予習しておく。（約2.0h）
復習: 前期習った内容を中心に、否定形や助詞などについて学習する。（約2.0h）

3. 進行形と願望形について
ハングルの進行形と願望形について勉強します。
授業内容について課題を出します。

予習: 進行形と願望形について調べる。（約2.0h）
復習: 進行形と願望形を理解する。（約2.0h）

4. 尊敬語について
日本語と韓国語の類似点の一つは、尊敬語があるということです。ここでは、尊敬語の作り方について学びます。授業内容について課題を出します。

予習: 尊敬語について調べる。（約2.0h）
復習: 尊敬語を理解する。（約2.0h）

5. 小テストと解説
第1回～第4回の授業内容についてテストを行います。またテストの模範解答を行い、解説します。

予習: 小テストに備える。（約2.0h）
復習: 小テストの模範解答や解説を参考に復習を行う。（約2.0h）

6. 疑問を表す言葉
ここでは主に、疑問を表す言葉を中心に勉強します。
どこ、いつ、どれ、誰、何、どのくらい、何でも(特定できないもの)、なぜ、どのようになどの疑問を表す言葉を、例文を通じてその用法について勉強します。授業内容について課題を出します。

予習: 疑問を表す言葉について調べる。（約2.0h）
復習: 疑問を表す言葉を理解する。（約2.0h）

7. 数の表現
ハングルの数の言い方には、2とおりあります。まず、漢数詞:漢字からきたもので、年月日、お金の計算、電話番号、番地、分、秒、メートル、キロなど度量衡を表すときに使います。零から始まり十、百、千、万、億、兆と続き、数え方は日本語とほぼ同じです。もう一つは、固有数詞:身近な数を数えるときに用いられ、1から99まであります。なお、数詞は、漢数詞、固有数詞ともアラビア数字やハングルで表記することがあります。授業内容について課題を出します。

予習: 数の表現について調べる。（約2.0h）
復習: 数の表現を理解する。（約2.0h）

8. 終止語尾
終止語尾の形態と用法について勉強します。
韓国語の文の構成で終止語尾は、文末の活用語の語幹につき文を結ぶ役割を果たします。
終止語尾の形態は、叙述形終止語尾、疑問形終止語尾、命令形終止語尾、勧誘形終止語尾、に分けられます。それぞれ、語幹が母音で終わる場合と子音で終わる場合とによって終止語尾の形が変わりますので、注意しながら勉強しましょう。授業内容について課題を出します。

予習: 終止語尾について調べる。（約2.0h）
復習: 終止語尾を理解する。（約2.0h）

○授業計画　科 目 名 : 第二外国語2（韓国語）（Korean2 ）　授業コード:A030251
担当教員: 高　文局

学修内容

9. 時制
韓国語の時制は、他の言語と同じく自然時間を過去、現在、未来に分けます。
ここでは主に、過去形と未来形を中心に勉強します。授業内容について課題を出します。

予習: 時制の表現について調べる。（約2.0h）
復習: 時制の表現を理解する。（約2.0h）

10. 小テストと解説
第6回～第9回の授業内容についてテストを行います。またテストの模範解答を行い、解説します。

予習: 小テストに備える。（約2.0h）
復習: 小テストの模範解答や解説を参考に復習を行う。（約2.0h）

11. 助詞の活用
場所を表す名詞に付く助詞をはじめ、活用語の語幹に付き文と文を同格に結ぶ助詞、名詞に付いて同一を示す助詞、名詞と名詞を結ぶ役割をする助詞、道具・手段を表す助詞、時間の始点と終点を表す助詞、などについて例文を中心に勉強します。授業内容について課題を出します。

予習: 助詞の活用について調べる。（約2.0h）
復習: 助詞に活用について理解する。（約2.0h）

12. 基本会話の表現(1)
日常的に使われる基本会話を中心に勉強します。
まず、基本的な挨拶について勉強します。出会ったとき、別れるとき、などに使われる会話表現と自己紹介のとき使われる会話表現について勉強し、自分のものにしていきましょう。単に憶えていくのではなく、感覚で学べるよう努めましょう。授業内容について課題を出します。

予習: 基本会話を調べる。（約2.0h）
復習: 基本会話を覚える。（約2.0h）

13. 基本会話の表現(2)
いままで習った文法を生かし、簡単な会話を作文してみましょう。作文を通じて、後期において習った進行形・願望形、尊敬語、疑問を表す言葉、数の表現と終止語尾、時制、助詞などについてもう一度復習しましょう。

予習: 作文の練習問題を通して学習内容をまとめる。（約2.0h）
復習: 作文の練習問題の解説などを通して学習内容を確認する。（約2.0h）

14. 小テストと解説
第11回～第13回の授業内容についてテストを行います。またテストの模範解答を行い、解説します

予習: 小テストに備える。（約2.0h）
復習: 小テストの模範解答や解説を参考に復習を行う。（約2.0h）

15. 自己点検授業
授業で学習した内容の総括を行い、学生自身に学習達成の程度を自己点検させます。学習目標が達成されているかを、個々の学生の成績評価を示して説明します。

予習: ノートを整理することで今までの学習内容をまとめる。（約2.0h）
復習: 自己点検を通して、学習が足りないところをチェックし学習する。（約2.0h）

16. 期末試験

予習:
復習: